

公益財団法人 核物質管理センター
第50回理事会議事録

1. 開催日時 令和8年3月6日(金)
9時56分～11時56分

2. 開催場所 東京都台東区東上野1-26-2
オーラム 地下2階 ロイヤルI

3. 出席者(順不同)

理事 代表理事 理事長：坪井 裕
業務執行理事 小林 功、阪口 誠
非常勤理事 秋山 信将、内山 洋司、海老原 充、北野 充、
木下 雅仁、戸辺 義人(牛田 克己は欠席)
【理事現在数10名、出席理事9名】

監事 非常勤監事 中嶋 哲也、荻野 伸明
【監事現在数2名、出席監事2名】

事務局 総務部長：猪狩 和 他

4. 議長 理事長：坪井 裕

5. 議題

議案

第1号議案：令和8年度事業計画書及び収支予算書等の承認

第2号議案：第39回評議員会の招集について

第3号議案：評議員会の目的である事項に係る提案の決議

第4号議案：令和8年度役員報酬等の決定の決議

報告事項

理事の職務執行状況の報告

6. 議事の経過及び結果

理事会の開会に際し、坪井理事長から挨拶の後、事務局から会議成立の確認が行われた。理事現在数10名に対し本理事会は9名の出席があ

り、定款第36条に規定する決議に必要な理事の出席要件を満たすことについて報告があった。また、監事2名が出席されていることについて報告された。

次に、定款第35条の規定に基づき、坪井理事長が議長となり会議を進行した。併せて、定款第38条第2項の規定に基づき、出席した理事長並びに中嶋監事及び荻野監事が本日の議事録署名人となることを確認し、議案の審議に入った。

審議経過は以下のとおり。

6.1 議案

第1号議案 令和8年度事業計画書及び収支予算書等の承認

坪井理事長及び事務局から資料1、2に基づき、令和8年度事業計画書(案)、収支予算書(令和7年度補正予算については参考として添付)(案)、資金調達及び設備投資の見込み(案)及び「事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容について記載した書類(案)」について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり承認された。

以下、審議における主な質疑等を記す。

・保障措置検査等業務(事業規模約28億円)について、全体は28億円だが説明関係資料では8億円となっているが、他の予算はどうなっているかとの質問があり、保障措置検査等業務に従事する人件費(約15.3億円)は含んでいないこと等の説明があった。

・令和8年度予算(前年度比で減)と令和7年度補正予算の関係に関する質問があり、令和8年度予算に関して、予算額は減っているが、令和7年度補正予算を含めた合計額では事業実施に必要な予算が手当てされている旨説明があった。補足参考資料も参照し、原子力規制庁予算(保障措置に必要な経費)及び原子力規制委員会会議議事録(令和8年1月7日)も含めて補足説明があった。

・令和8年度収支予算では約4千万円の黒字が見込まれるとのことであるが、この解消方法についての質問があり、当該黒字は複数年リース契約における初年度の消費税還付が原因であるため、リース契約全体の期間で考えれば黒字が解消される見込みである旨、事務局から説明があった。

また、公益法人法の改正により、単年度で解消しなくてもよいことになったことが報告された。

第2号議案 第39回評議員会の招集の決議

事務局から資料3に基づき、第39回評議員会の招集について(案)の説明があり、審議の結果、出席理事全員一致をもって原案のとおり決議された。

第3号議案 評議員会の目的である事項に係る提案の決議

第4号議案 令和8年度役員報酬等の決定の決議(役員報酬決定)

事務局から資料4に基づき、評議員会の目的である事項に係る提案の決議について(案)の説明があった。「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の一部改正と役員報酬決定の決議は関連するため、連続して事務局から資料5に基づき、令和8年度の役員報酬について説明された。

審議の結果、「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の一部改正を議題に、決議の省略の方法により評議員会を開催することについて、出席理事全員一致をもって原案のとおり決議された。

また、令和8年度の役員報酬については、評議員会において「役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の改正の決議がなされることを条件として、出席理事全員一致をもって原案のとおり決議された。

6.2 報告事項

(1) 理事の職務執行状況の報告

坪井理事長、小林理事及び阪口理事から資料6に基づき、定款第25条第6項に定める「理事長及び業務執行理事の職務の執行状況報告」である令和7年6月から令和8年1月までの職務執行状況について報告があった。資料6に基づき、理事長から、安全管理等を含めた全体概要並びに情報発信、DX及び人材育成研修について説明・報告があった後、小林理事から、技術者養成、情報処理業務及び情報セキュリティ対策の強化について、阪口理事からは、調査研究、技術開発、保障措置検査等業務(特記事項含む)及び業務品質保証の強化に係る各取り組みについて報告された。

以下、主な質疑等を記す。

・六ヶ所再処理施設のしゅん工をにらんだ NMCC の対応等について質疑応答や意見交換が交わされた(六ヶ所再処理施設の計量管理、NRTA 他)。

・大学等の講義への協力や高専へのアプローチは、NMCC の知名度向上や将来的な人材採用の面で有益であるとのコメントがあった。

・情報セキュリティに関して、例えばビール会社で発生した事案を題材に NMCC では対策を講じているかの質問があり、NMCC が現在採用している社内側(クローズ)と外部への通信側(オープン)が完全分離されたシステムの運用、不正アクセスの常時監視等により問題は生じていないことを確認していると、小林理事から説明があった。

(2) その他(情報共有等)

坪井理事長から、国内保障措置制度のあり方検討会を中心として、補足参考資料のうち NMCC に関係する内容について、説明等があった。

阪口理事から、過去(2006年～2008年当時)の六ヶ所再処理施設のアクティブ試験時の保障措置に係る経験の再確認の実施状況を含めた説明があった。

7. 配付資料

- 資料1 令和8年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み(案)
- 資料2 当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容について記載した書類(案)
- 資料3 第39回評議員会の招集について(案)
- 資料4 評議員会の目的である事項に係る提案の決議について(案)
- 資料5 令和8年度役員報酬等について(案)
- 資料6 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告
(対象期間：令和7年6月～令和8年1月)

補足参考資料 国内保障措置制度のあり方検討会等からの資料

以上、理事会の議事の経過及び結果を明確にするために、議事録を作成し、出席した理事長及び監事が次のとおり記名押印する。

令和8年3月6日

理 事 長 坪 井 裕

監 事 中 嶋 哲 七

監 事 荻 野 伸 男

(議事録作成者：公益財団法人 核物質管理センター
総務部総務課長 遠藤 雅伸)